

I 令和5年度の取組

【学習推進】			【安心安全】		
①主体的な学びを生み出す・単元づくり ・主体的な学びを生み出す手立ての実証 ・自分を発揮できるスタートカリキュラム ・質の高い授業を実現する高学年教科担任制 ・基本的な学習習慣を身に付ける指導・支援	②今と将来、自分と社会をつなぐキャリア教育 ・育てたい4つの態度・能力を意識させる活動の設定 ・自身の成長を確認できるキャリアパスポート ・学年のキャリアの発達に応じて「将来」「社会」を広げる支援	③モラルとスキルを系統的に高める情報教育 ・ICT機器を効果的に活用する授業づくり ・意図的・計画的にICT機器活用のスキルを向上させる場の設定 ・学年の発達段階、児童・家庭の実態を踏まえたモラル指導	①みんなが心地よい学校生活 ・多様性、包摂性の高い学校風土の醸成 ・児童自らを発達させていく過程を温かく支える生活指導 ・思いやり・規範意識の涵養 ・いつも、進んで、明るくあいさつすることの習慣化、教職員の率先垂範 ・意図的・組織的・系統的な課題未然防止教育の推進	②温かで細やかな個別支援 ・保護者とともに考える教育相談 ・児童個々の困り感を「チーム対応」で解決する発達支援、登校支援 ・いじめ防止基本方針に基づく適切ないじめ対応 ・個別のニーズに応じたタブレット型端末の活用	③自他を大事にする健康・安全指導 ・基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の定着 ・心身・命を守る知恵とスキルの習得 ・運動する楽しさを味わえる活動・環境の工夫
【連携】					
①地域・家庭との情報共有 ・ホームページ・ブログ、メール配信システム、地域回覧等によるタイムリーな情報発信 ・アンケート、面談等による情報の収集と有効活用			②コミュニティ・スクールの充実 ・目指す子供像、児童の実態の共有 ・地域・家庭の人的・物的教育資源の積極的な活用 ・発達支援コーディネーター、曳馬協働センターとの連携・協働		

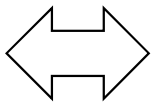
II 自己評価

〈「そう思う」「ややそう思う」の割合〉

		児童の評価	保護者の評価	教職員の評価	自己評価の分析・考察
①探究・創造	進んで「知りたい」「やってみたい」をかなえることができる	90.2%	81.9%	85.7%	【アンケートの結果より】 ・全体的に「児童の評価」がよく、次に「保護者の評価」、「教職員の評価」の順となっている。「教職員の評価」が低めになっている。 ・学習では、全体的に「保護者の評価」と「教職員の評価」が、やや低い。主体的に授業で学んだことが、他の活動に生かすことができるように、今後も、さらなる「授業改善の必要性」がある。 ・タブレット型端末は、活用はしてきているが、マナーについては、共通理解する必要がある。 ・生活では、全体的には良い表れとなっているが、「あいさつと言葉づかい」「体力づくり」についてはやや低い。 ・「教職員（姿勢）」や「連携」については、比較的よい結果となっている。 【全国学力調査の結果より】 ・国語、算数等の学力は、全国平均を上回っている。特に、基礎的な内容についての理解が高い。 ・質問紙より「主体的な取り組み」「関わり合い」が課題である。 【いじめ対応】 ・「いじめアンケート」を年4回実施し、いじめに対して、積極的な認知をしている。概ね、子供たちや保護者との共有ができています。
②自尊・個性伸長	自分のよさがわかり、自分を高めることができる	88.9%	86.2%	89.3%	
③協働・共生	友達や周りの人と力を合わせて活動することができる	90.7%	87.8%	82.1%	
④目標選択	目標を立て、進むべきプロセスを自ら選ぶことができる	88.9%	72.4%	71.4%	
⑤学習	「勉強してよかった」「勉強はおもしろい」と思っている	85.0%	66.7%	75.0%	
⑥学習	自分の考えや思いをもち、それを表そう、伝えようとしている	86.3%	81.2%	71.4%	
⑦学習	学んだことを生活で生かしたり、さらに深く自分で調べたりしている	79.9%	70.5%	57.1%	
⑧学習	ルールやマナーを守り、タブレット型端末を学習に生かしている	96.9%	81.7%	57.1%	
⑨生活	学校では楽しく安心して生活している	92.9%	93.1%	82.1%	
⑩生活	学校の決まりや大人や友達との約束を守り、マナーよく生活している	93.8%	91.4%	67.9%	
⑪生活	気持ちのよいあいさつや返事、言葉づかいができています	88.4%	79.5%	71.4%	
⑫生活	早寝・早起き・食事など自分の健康に気をつけて生活している	82.9%	81.0%	92.8%	
⑬生活	自分から進んで運動や体力づくりに取り組んでいる	77.9%	69.0%	85.7%	
⑭教職員（姿勢）	先生方は子供たちのよさや頑張りを大切にしている	95.4%	94.0%	100.0%	
⑮教職員（姿勢）	先生方に安心して相談できる	89.7%	93.8%	100.0%	
⑯連携	学校と家庭は必要な情報が共有できている		82.2%	100.0%	

III 今後の改善方針（案）

◇今後も、教職員全員で授業改善（主体的な学びや話し合い）の必要性を共有して、校内研修を行っていく。
 ◇総合的な学習の時間の探究活動での経験をとおして、子供たちの主体的な活動につなげていく。
 ◇来年度は、「あいさつ」を重点として、生徒指導担当と委員会を中心に、取り組んでいく。
 ◇「体力づくり」については、体育主任を中心に授業の充実を図ったり、学年や委員会をとおして、体力づくりイベントの開催を行ったりする。
 ◇「いじめアンケート」「アセス」「面談」を、来年度以降も、定期的に行い、児童、保護者、教職員の連絡を密にして、子供たちのよりよい成長に導いていく。



IV 学校運営協議会による学校関係者評価

◇今年の先生方の授業改善は評価できる。来年度も、引き続き授業改善をしていってもらいたい。学校の授業改善の様子よく分かった。
 ◇授業や総合的な学習の時間の探究活動の充実に向けて、運営協議会委員として、協力していきたい。
 ◇「朝のあいさつ」については、自律登校をとおして、よくなってきている。学校でも、頑張ってもらいたい。
 ◇委員会活動の充実させていくことについて理解した。子供たちの喜びを作り出すイベントや活動の充実があると、楽しく学校へ行くことができる。
 ◇「いじめアンケート」「アセス」「面談」をとおして、先生方が、子供たちのことをよく見て、指導していることが分かった。